

問合わせ先

海上保安庁海洋情報部海洋調査課

課長補佐 富山 新一

電話 03-3541-3815 (内線621)



平成22年3月11日

海上保安庁

## 津波防災情報図について

### ～地震発生時の迅速な避難のために～

海上保安庁では、港内の津波対策のための基礎資料として、全国で44箇所の港湾等における津波防災情報図を作成し、公開しています。

東海地震などの海溝型巨大地震が日本沿岸で発生した場合には、大きな津波の発生により船舶の座礁や転覆、港湾施設の損壊など甚大な被害を及ぼすことが予測されています。

海上保安庁では、港を利用する船舶が避難計画を作成したり、津波発生時に船舶や人の避難、救助のために用いるなど、津波防災のための基礎資料として、東海地震、東南海・南海地震、日本海溝地震を想定した津波防災情報図を平成14年度から順次整備しています。

作成した津波防災情報図は一般に提供するとともに、インターネットでも公開しています。  
(<http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAIYO/tsunami/index.html>)。また、港湾等の利用者に活用して頂くため、講演会等の場における周知活動も実施しています。

今般のチリ中部沿岸を震源とする地震による津波の発生を受け、津波防災情報図について改めてお知らせすることで、港湾等の利用者に活用して頂き、十分な災害対策がとられることを期待します。

#### 津波防災情報図の種類

津波防災情報図は、進入図、引潮図及び津波アニメーションの3種類で構成されています。

進入図： 陸に向かって来て、湾内や港湾に押波として進入してくる津波による最大の水位上昇量や、津波の水流の速さ・向き、到達時間を記述した図

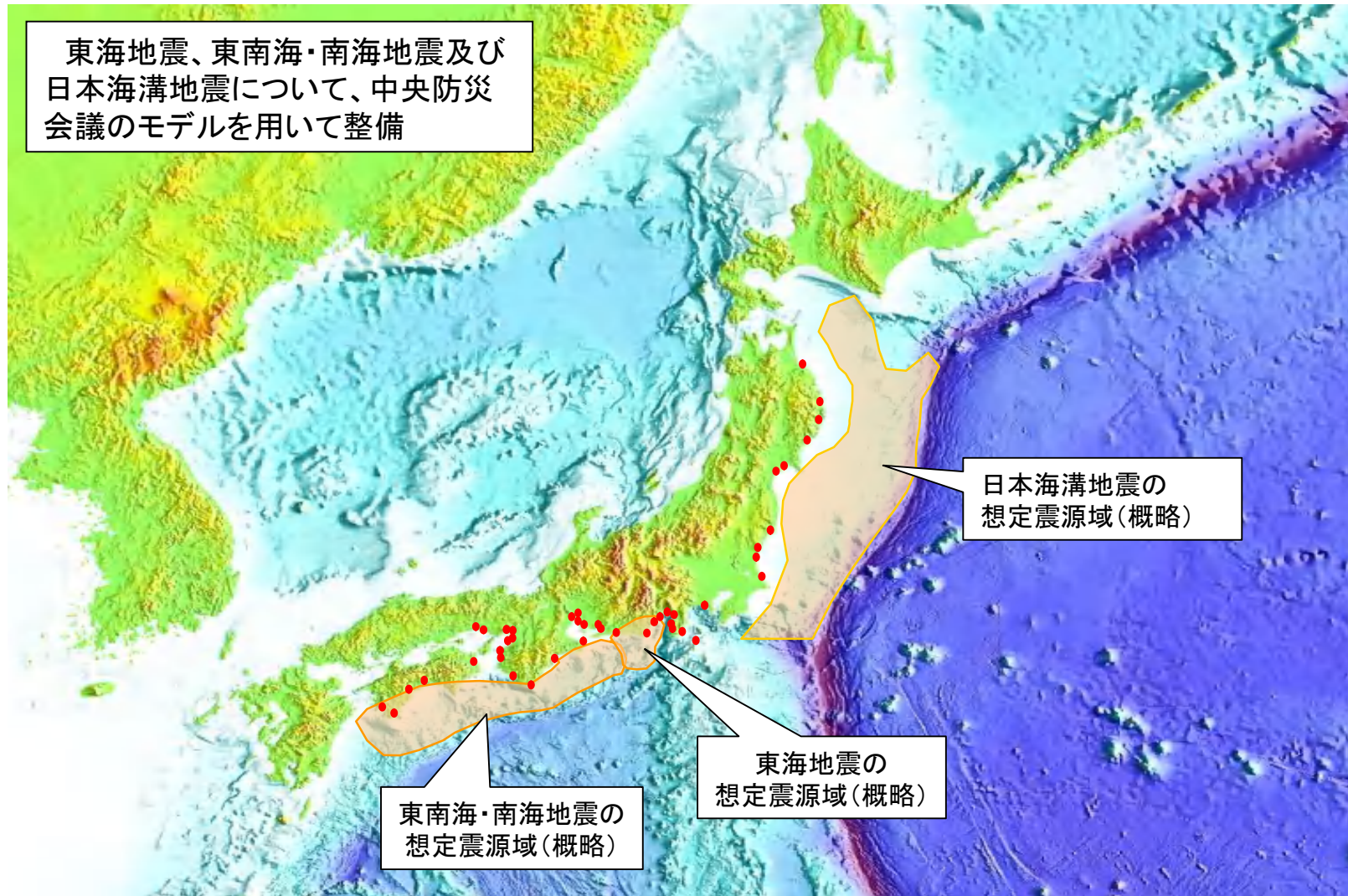
引潮図： 陸から遠ざかる方向に、引波として後退していく津波による最大の水位低下量や、津波の水流の速さ・向きを記述した図

津波アニメーション： 湾内、港内での津波の動きをパソコン画面で表示する動画ファイル

# 津波防災情報図の整備状況

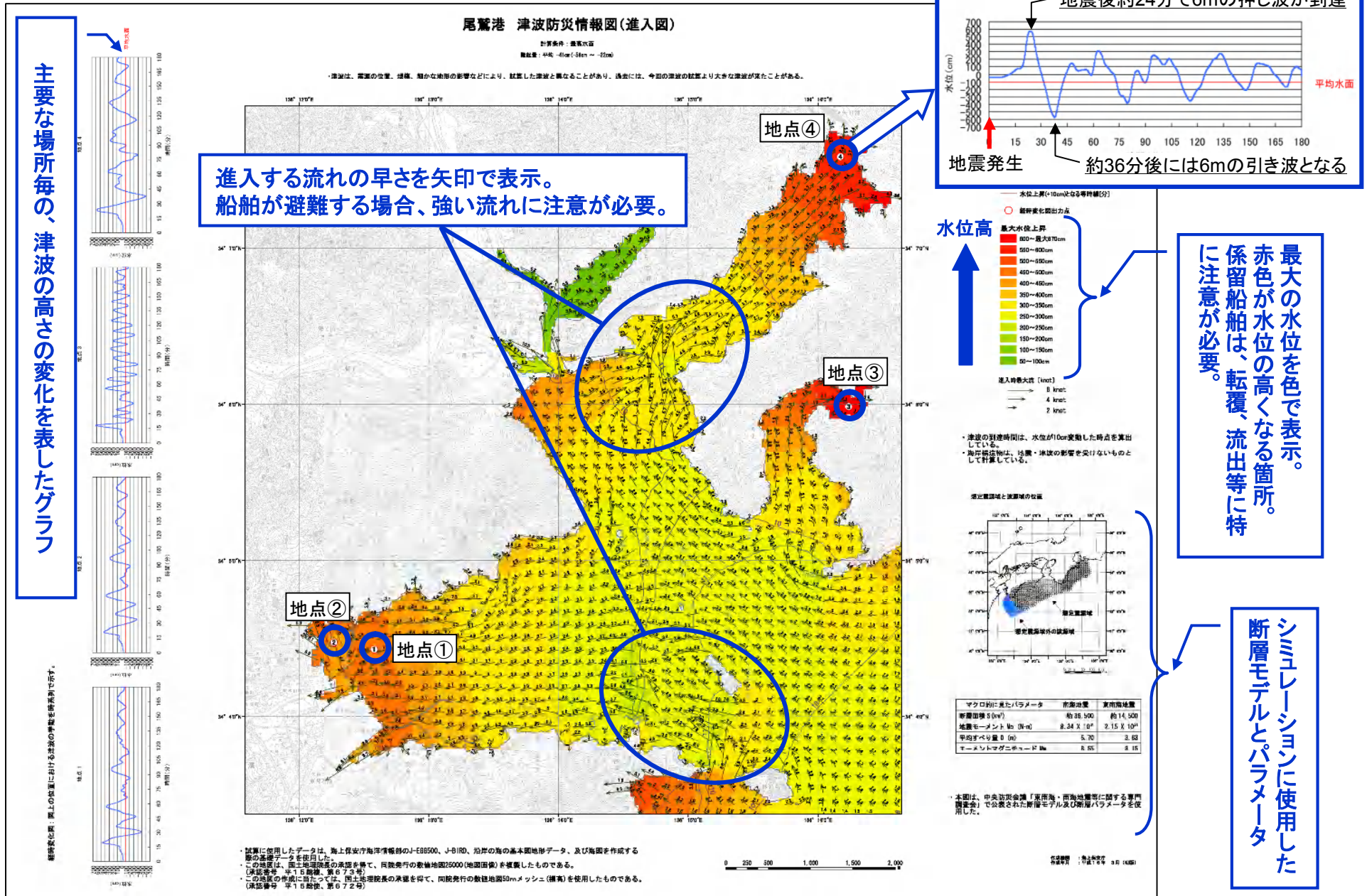
別紙1

港を利用する船舶が避難計画を作成したり、津波発生時に船舶や人の避難、救助のために用いるなど、津波防災のための基礎資料となります。



赤い点は、津波防災情報図が整備されている港湾(44カ所)を示す。

## ① 進入図：海水面が最も高くなる時を想定した図



## ② 引潮図：海水面が最も低くなる時を想定した図

